

## LIFE に連携するリハビリテーション計画書の作成方法

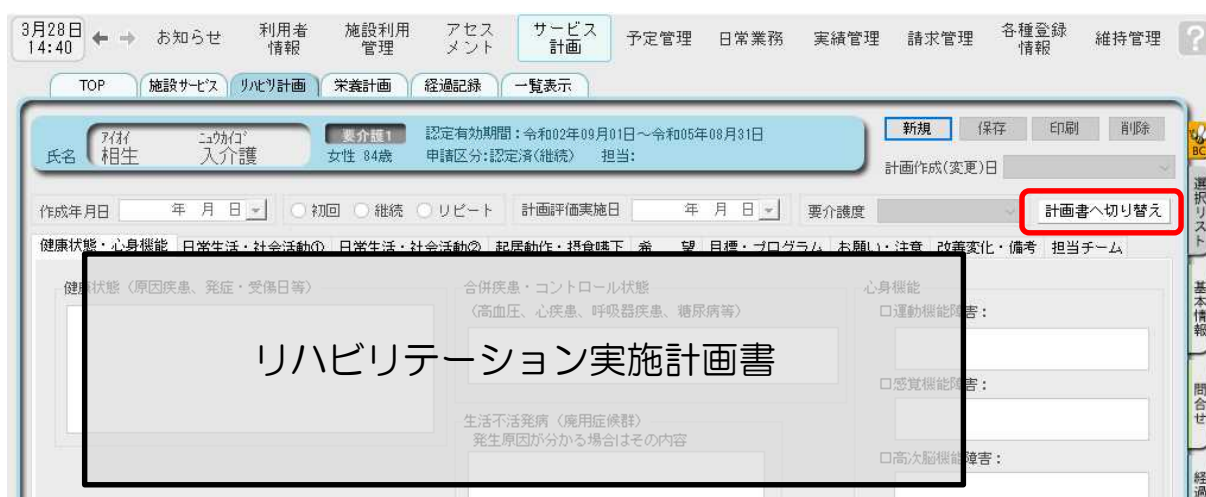
リハビリ計画画面《サービス計画》〈リハビリ計画〉でLIFE に連携するリハビリテーション計画書を作成します。リハビリテーション計画書をCSV ファイルに出力し、LIFE 専用 Web サイトで取り込みます。

各項目の記載要領については、[介護保険最新情報 Vol.936「リハビリテーション・個別機能訓練・栄養管理及び口腔管理の実施に関する基本的な考え方並びに事務処理手順及び様式例の提示について」](#)をご確認ください。

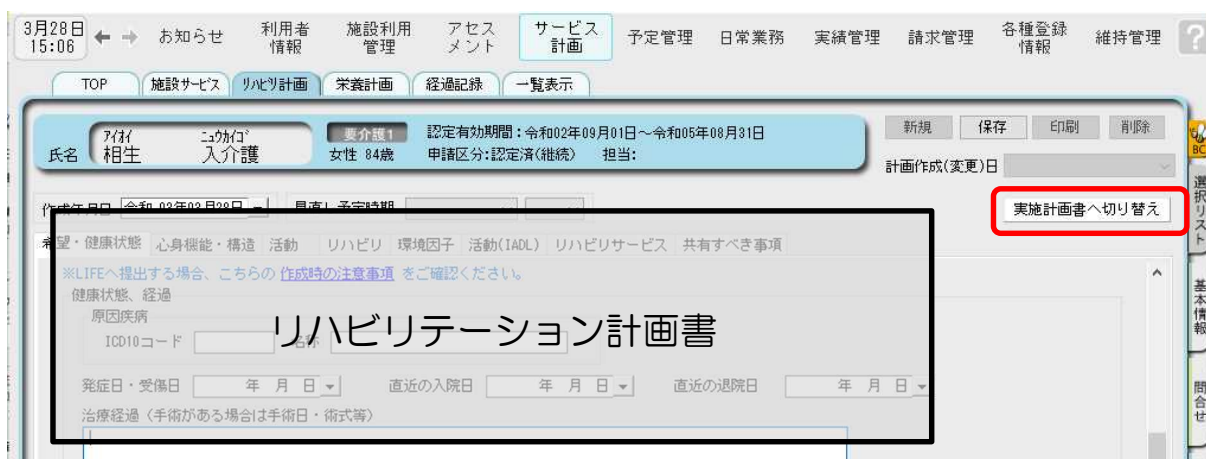
### ＜リハビリテーション計画書画面の開き方＞

《サービス計画》〈リハビリ計画〉を表示すると、まず既存のリハビリテーション実施計画書を入力する画面が表示されます。

画面右上の[計画書へ切り替え]をクリックして、計画書入力画面を表示します。



リハビリテーション実施計画書へ戻る場合は、右上の[実施計画書へ切り替え]をクリックします。



＜リハビリテーション計画書の作成方法＞

①＜リハビリテーション計画書＞画面で、作成する利用者を利用者リストから選択します。

[新規]ボタンをクリックして、入力を開始します。

②[希望・健康状態]タブの健康状態、経過では病名と病名に対応する傷病名コードまたはICD10コードを入力します。[病名検索]をクリックすると病名の一部を入力して検索できます。

The screenshot shows the '希望・健康状態' (Wishes/Health Status) tab. The '原因疾病' (Cause of Disease) section has a red box around the '病名検索' (Disease Search) input field. Below it, the '合併疾患' (Comorbidities) table is also highlighted with a red box. The table has columns for '病名' (Disease Name) and '病名コード' (Disease Code). There are five rows, each with a '病名検索' (Disease Search) button and input fields.

③[心身機能・構造]タブ、[活動]タブは選択肢がボタンになっています。いずれか1つをクリックしてください。非選択に戻す場合は SHIFT キーを押しながら選択したボタンをクリックします。

The screenshot shows the '活動' (Activity) tab. It contains a table with the following columns: '項目' (Item), '現在の状況' (Current Status), '活動への支障' (Interference with Activity), and '特記事項(改善の見込み含む)' (Remarks, including improvement prospects). The '現在の状況' and '活動への支障' columns each have '有' (Yes) and '無' (No) buttons. The '有' buttons are highlighted in blue.

項目	現在の状況		活動への支障		特記事項(改善の見込み含む)
	有	無	有	無	
筋力低下	有	無	有	無	
麻痺	有	無	有	無	
感覚機能障害	有	無	有	無	
関節可動域制限	有	無	有	無	
摂食嚥下障害	有	無	有	無	
失語症・構音障害	有	無	有	無	
見当識障害	有	無	有	無	
記憶障害	有	無	有	無	

④[目標]タブではICF（国際生活機能分類）を選択して短期目標と長期目標を作成します。

ICF（国際生活機能分類）は別紙「LIFE に入力するコードの説明等について」をご確認ください。

The screenshot shows the '目標' (Goals) tab. It is divided into two sections: 'リハビリテーションの短期目標(今後3ヶ月)' (Short-term goals of rehabilitation (next 3 months)) and 'リハビリテーションの長期目標' (Long-term goals of rehabilitation). Each section has a dropdown menu for '目標' (Goal) and another for 'ICF名称' (ICF Name).

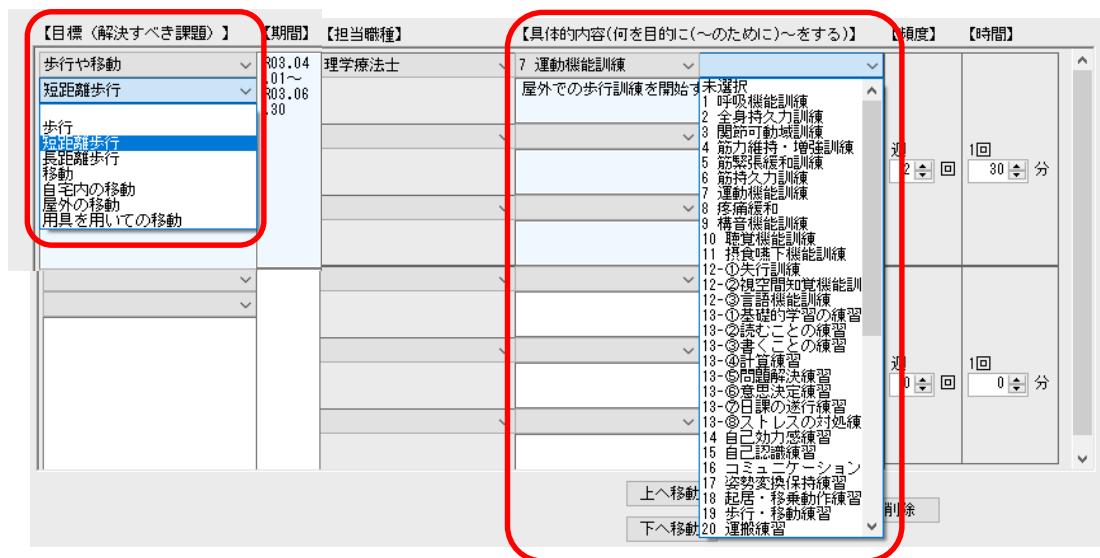
目標とそのICF名称をそれぞれ選択してください。項目によって選択範囲が決まっているので別紙「長期目標・短期目標の選択範囲」を確認して選択してください。  
目標は3つまで入力できます

⑤[環境因子][活動 (IADL)][リハビリサービス][共有すべき事項]は、主に居宅サービスをご利用になる場合の内容です。これらのタブで入力した項目は、別紙様式2-2-2に記載します。印刷時には、出力する/しないを選択できます。

⑥[環境因子] タブの社会参加の状況は、「興味関心チェックコード」を選択します。帳票には自由入力欄の内容を出力します。

⑦[リハビリサービス]タブの【目標(解決すべき課題)】はICFコードの「目標(解決すべき課題)」  
「ICF 名称」から選択します。自由入力欄はICFコードの「含まれる行為」を用いて記載しま  
す。LIFE【具体的内容】は支援コードの(大項目・細項目)から選択します。LIFEには最初の  
5項目(5行)を出力します。いずれも帳票には自由入力欄に記載した内容を出力します。

ICFコード、支援コードは別紙「LIFEに入力するコードの説明等について」をご確認ください。  
【期間】は右クリックしてメニューから「期間」を選択すると、カレンダーから入力できます。  
帳票には自由入力欄の内容を出力します。



### ⑧帳票および LIFE 出力について

リハビリテーション計画書は改ページには対応していないため、自由入力欄に入力した全ての  
内容を印刷するわけではありません。

また、LIFE に連携する情報は各項目で定められた文字数しか連携できません。

※誤ってクリックして選択したものを非選択(何も選択されていない状態)に戻す場合は、  
SHIFT キーを押したまま、誤って選択したラジオボタンを左クリックしてください。